

# 競技上の確認事項

- 1 競技は、2014年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 開館時刻 1日目・2日目 各体育館共通 8：30（監督会議 9：00 1日目）
- 3 男女とも予選リーグ戦、決勝トーナメント戦を行う。3位決定戦を行い、コート表彰とする。  
第2試合以降の試合開始は、10分間の合同練習後（パス程度）、追い込み方式で行う。公式練習は2日間とも、各チームの第1試合のみとする。（予選リーグ戦3位のチームは、2日目、3位交流戦を行う。）
- 4 第1試合の前の練習は、コート設営が完了し、コート系の許可が出てから自由にコートを使って練習できる。ただし、ネット越しのプレーは禁ずる。  
第1試合のプロトコール開始10分前からは、第1試合のチームのみの練習とする。
- 5 開会式前、フロアを開放するが、ボールを使つての練習は禁ずる。
- 6 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 7 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 8 監督、コーチ、マネージャーマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- 9 スタッフ（監督・コーチ）は、統一された服装でベンチに入ること。また、マナーについては十分留意すること。
- 10 エントリー確認用紙を監督会議終了時に競技委員長に提出すること。これ以外の変更は、いかなる場合も一切認めない。教職員外のコーチの変更がある場合、新たな「学校教職員外コーチ承認願」を提出すること。
- 11 リベロプレーヤーは、チームの他の選手と対照的な色のユニホームまたは、ベストを着用しなければならない。
- 12 予選リーグ戦の主審、副審は各チームの随行審判員制とする。（資格の有無は問わない。）  
補助員は各チームで協力して行うこと。決勝トーナメント戦は組み合わせ表の割り当て通りとする。

## 審判上の確認事項

- 1 本大会は、2014年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じる。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 各コートには、ウォーム・アップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 3 セット間は、フリー・ゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 4 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと  
（相手チームに向かってのガッツポーズ等）。
- 5 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや 交代競技者ともタッチ（ハイタッチなど）を行わないこと。
- 6 タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がりコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確にして示すこと。
- 7 サブスティチューションは、ナンバーカードを用いてのクイックサブスティチューションで行う。
- 8 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、控えメンバーもしくはその他の部員からクイックモップ（2名以内）を待機させることができる。
- 9 リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。

## その他

- 1 参加申し込みは12名以内としているが、毎試合の登録人数の上限は設けない。ただし、ピブス等で背番号が分かるようにすること。
- 2 開会式は各試合会場で行うこととする。参加各チームは各試合会場に集合すること。  
※大会要項から変更になりますので、ご注意ください。